

編集後記

涼しいカラ梅雨の7月はじめにこの後記を書いているが、本号が出る頃は夏の盛りであろう。昨年の国際障害者年をふりかえる特集をお送りする。

現金なもので、今年になったとたん、新聞・テレビなどでの障害者問題のとりあげ方は昨年にくらべて激減した。障害者団体や専門家団体（リハ医学を含む）で結成された国際障害者年日本推進協議会は少なくとも10年にわたる長期行動計画を策定し、粘り強く運動を進めて行く意気込みであるが、その前途は決して楽観できない。また「国際」障害者年でありながら国内の問題だけにかまけて視野狭窄におちいっていなかったかとの反省も心要である。この点について国際的動向を小島氏に、長期行動計画を中心としたわが国の動向を飯田氏という、いずれも中心的な人物に展望していただいた。また身体障害者にくらべ、ともすれば軽視されがちな精神薄弱者と、障害者としてすら認められていない難病患者にとって障害者年とは何であったのかをそれぞれ皆川氏と佐藤氏にまとめていただい

た。「障害の概念と範囲の拡大」が必要とされ、リハビリテーションの対象と概念の拡大も要請されている現在、ぜひ一読をおすすめしたい。調氏の「重度障害者の雇用と所得保障はどう進んだか」も重要な問題提起を含んでいる。

伊藤氏の巻頭言「心疾患のリハビリテーション」も短かい中に重要な指摘を含んでいる。特に「標準的方法が示されるまでは各自手なれた方法で実施していて差支えない」という最後の一言は何か安心させるものがある。

本号から新講座「反射」がはじまった。連載中の講座「リハビリテーション医学の評価法」と共に御愛読をお願いしたい。その他本号では4篇の研究と報告のをせることができた。御存知のように症例報告の欄も新設されたので、この2つの欄への投稿をお待ちしている。

なお今月号から編集委員に産業医大リハビリテーション科教授の緒方甫氏にあらたにお加わりいただいた。（上田 敏）

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
杉 山 尚
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水野 祥太郎
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江口 壽榮夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
加倉井 周一
賀 集 竹 子
河 邨 文 一 郎
小 島 蓉 子
五 味 重 春
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 田 玲 子
高 橋 勇
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
橋 倉 一 裕
長谷川 恒雄
林 玉 子
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
渡 辺 英 夫
(五十音順)

(細田, 山田)

次号予告 (第10巻 第9号)

特集 足の構造と機能

足関節・足部の機能解剖……………川崎医大・リハ 土 肥 信 之
歩行における足部の発達……………北大・整形 須々田幸一・他
足アーチの障害……………阪市大・整形 島津 晃・他
足指の変形……………桜町病院 加 藤 正
ヒトの歩行の起源への考察……………川崎医大 水 野 祥太郎

研究と報告

気泡浴が及ぼす生体への影響……………名大・理療部 伊藤不二夫・他

紹介

脳卒中片麻痺の歩行能力維持
プログラムについて……………中伊豆リハセンター 窪 田 俊 夫・他

調査

全国肢体不自由者更生施設の現況
について……………宮城県・拓杏園 今 田 拓・他

講座

リハビリテーション医学の評価法 8 :
高次神経機能の評価 2 : 失行・失認……………東京都・養育院 鎌 倉 矩 子
反射 2 : 神経生物学における反射……………東京都・神経研 大 島 知 一

一頁講座

社会リハビリテーション 8
家族援助と地域ケア……………心身障害児療育センター 大 塚 隆 二